

第40回マーチングバンド関西大会 審査内容

【中学生の部】

全体的演奏・演技の調和

全体的演奏・演技の調和

演奏・演技全体を音楽的な要素と視覚的な要素の結びつきをふまえて総合的に判断する。

全体的表現

- ・全体構成

「緩急」「強弱」「喜怒哀楽」の変化や「起承転結」等の構成を理解した、メリハリが感じられる演奏・演技になっているか。

- ・音楽と視覚の調和

音楽効果と視覚効果の調和を意識した演奏・演技をしているか。

- ・ミュージシャンシップ

観客を意識し、アピールしようとする姿勢が一貫しているか。

- ・完成度

安定感のある仕上がった演奏・演技になっているか。

音楽的表現

- ・表現

テンポ、音色、音程等に気を付け、楽曲のスタイルや曲想を理解した音楽表現ができているか。

- ・バランスとブレンド

ステージング（フォーメーションの中での楽器の配置）を考えながら、管楽器内、打楽器内、管楽器と打楽器のバランスやブレンドに気を付けた合奏ができているか。

- ・強弱

美しい音質を保ちながら、強弱の差が効果的に表現されているか。

- ・統一感

イントネーション等がそろっているか。

視覚的表現

- ・表現

テンポ、緩急等に気を付け、楽曲のスタイルや曲想を理解した動きの表現ができているか。

- ・ポジションワーク

インターバル（横の間隔）やディスタンス（縦の間隔）等に気を付け、全体のフォーメーションに貢献できているか。

- ・動作の鮮明度と同一性

動作がはっきりとして正確で、形やタイミングがそろっているか。

- ・リカバリー

ミスに対して適切な対応をしているか。

全体的演奏技術と表現力

全体的演奏技術と表現力

演奏者の技術力や表現力が十分に調整されているかを全体的に判断する。

演奏技術

・呼吸法

十分に息が吸えており、ブレスコントロールができているか。

必要な長さまできちんと息を使えているか。

・音質

無理のない自然な響きで、それぞれの楽器の特性にあった音色が作られているか。

・音程

チューニングが正確にされているか。

正しいピッチにより旋律、和音とも自然な響きが得られているか。

・アーティキュレーション

曲想に合っており十分な多様性があるか。

よく統一されているか。

・打楽器の奏法の統一

基本的な奏法が統一されているか。

表現力

・ダイナミックレンジ

曲想に合った強弱の付け方ができているか。

・フレージング

曲想に合ったフレーズ感を表現しているか。

・バランスとブレンド

全体を通じて高音楽器から低音楽器までバランスよくブレンドされているか。

旋律やソロとハーモニーのバランスが良く、明瞭であるか。

・スタイル

楽曲のジャンルの特徴や、楽曲そのものの個性を演奏者が十分に理解して表現しているか。

・ミュージシャンシップ

観客を意識し、アピールしようとする姿勢が一貫しているか。

全体的演技技術と表現力

全体的演技技術と表現力

演技者の技術力や表現力が十分に調整されているかを全体的に判断する。

演技技術

- ・スタイルの統一と適応
FM、RM、MT、停止姿勢、ターン方法などが統一されているか。
- ・動作の完成度
動作が正確に行われ、タイミングがそろっているか。
- ・楽器と手具の保持および使い方
演奏・演技を行うにあたり楽器や手具などが適切に使われているか。
- ・列、間隔のそろえ方
列をそろえるにあたり、その基準を理解しているか
動きの中でインターバルやディスタンスの取り方を理解しているか。
- ・動作の転換とタイミング
連続した動作が正確にスムーズに行われているか。

表現力

- ・コミュニケーション
表現を通して観客との対話がなされているか。
- ・ボディーワーク
演奏している音楽に適した表現がなされているか。
- ・手具などの表現
手具の扱い方や振付が音楽に適した表現となっているか。
- ・ショーマンシップ
観客を意識し、アピールしようとする姿勢が統一されているか。